



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
 ■会長■ 廻 辰一郎 ■幹事■ 河原 大輔 ■会報委員長■ 石井 慎一
 ■事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2020-21年度

第2719回

2020年9月11日(金) 点鐘12時30分(雨・曇り)

- ◆ロータリーソング『われらの生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

◇本日のゲストスピーカー
 有限会社オクト 代表取締役 石田 辰雄様

◆会長挨拶及び報告 廻 辰一郎会長

みなさま、こんにちは。有限会社オクト石田社長、本日の卓話、いろんなイベントの話の聞けそうで大変楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

皆様にご報告事項が二つございます。

まず、昨日、椿森に所在する国立病院機構千葉医療センターにコロナ対策寄付金として、50万円を千葉南クラブより寄付ということでお渡ししてまいりました。これは昨年度から引き続きクラブで検討してきたことで、この国難に立ち向かう医療従事者の方々に何かできないかということで色々なことを考えたのですが、寄付金ということで少しでもお役に立てればということで、理事会で検討し、昨日実行したという次第です。医院長に直接お渡しして大変感謝していただき、有難いようなお言葉もいただきました。今の色々な現状のお話も伺いましたし、これから秋冬に備えて皆さん大変なご苦労があるということをお聞きしました。

我々ロータリークラブの活動の趣旨をご説明させていただきまして十分ご理解をいただけたことと思います。

また、本日、大塚会長エレクトが個人的に千葉大学病院へ直接寄付されたということで、ここでご紹介させていただきます。

それからもう一つのご報告ですが、地区グループ再編について、再三ご報告をさせていただいておりますが、

やはり大事なことでありますので一部の会員ということではなく全会員に同じ情報を共有していただきたいという思いでご報告をさせていただきます。先週5日(土)に第4グループの会長・幹事及び各理事等の方々の集まりがございました。これは地区から来るのかと思いましたが趣旨が事前の情報とちょっと違ひまして、第4グループの外立ガバナー補佐からのお声かけで、我々第4グループのみの参加でございました。今後、第4グループとしてどうしていこうかという打ち合わせ会でもございました。そこでは先週お渡しいたしました我々のクラブに対する回答に準じたものがそれぞれのクラブにも来ておひまして、それからまた第4グループ全体にはほぼ同じ内容で地区から回答がございましたが、先日もご報告したとおり、基本ゼロ回答でございます。

その内容に対して、第4グループ各クラブの全員から発言がありましたが、やはり皆さん納得できないということと一致し、国際ロータリーに提訴しようということで話がまとまりました。しかし、今週の月曜日にRI日本事務局に申し入れをして確認をしたところ、ロータリー章典というのがあるのですが、そこから照らし合わせても今回のガバナー専任事項に関しても異議を調停する場がないということがはっきりしてしまいました。提訴という形をとっても簡単に言うと門前払いというか、RIに届ける先がないということが判明しました。

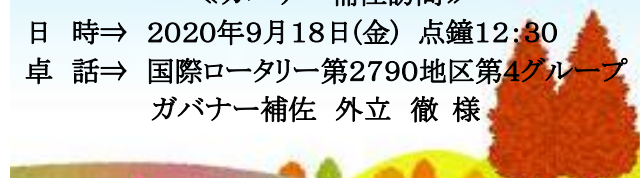
そこで、会長間で電話等で話したのですが、第4グループとして共同声明文を作ろうということで、そのたたき台を作っている最中です。本日、例会終了後に千葉南クラブの臨時理事会を開催しまして詳細等をご説明し、今後のクラブとしての方向性を決めたいと思っております。そして、18日(金)に第4グループの合同会長・幹事会がございまして、そこで何らかの方針を決めたいと思っております。この辺につきましては逐次またご報告をさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。そして何かご意見等がございましたらお申し出いただけたらと思います。

第2720回例会

≪ガバナー補佐訪問≫

日時⇒ 2020年9月18日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 国際ロータリー第2790地区第4グループ
 ガバナー補佐 外立 徹様



◆入会式

間々田 英俊会員 (オークラ千葉ホテル 総支配人)

＜紹介者:水野浩利会員、松尾博之会員＞

皆様こんにちは。東京のオークラでサービスを担当していた私が、ロータリアンになるとは夢にも思っておりませんでした。



(間々田英俊会員) (廻辰一郎会長)

ロータリークラブの国際親善と社会奉仕という二つのスローガンを私なりに一生懸命頑張って努めさせていただければと思います。諸先輩の皆様、ご教授の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆米山記念奨学会より感謝状伝達

第13回米山功労者 (メジャードナー)



吉田 裕成会員

※ 第1回米山功労者→ 10万円
メジャードナー→ 100万円～

◆委員会報告

CSRゴルフ会開催のご案内 (齋藤 良典会員)

時 ⇒ 2020年10月7日(水) 集合 8:30

場所 ⇒ 久能カントリー倶楽部

皆様、奮ってご参加ください。

地区RLI実行委員会より (三神 秀樹会員)

平素より地区RLI活動に対して、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本年度のロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)については、昨年度の諸岡ガバナー年度に新型コロナの影響で開催できなかったパートⅡを8月8日に、そして同じくパートⅢを9月7日に実施しました。上半期は、当地区全体で23名の参加者が3つのパートを修了されました。また、漆原ガバナー年度の下半期でも例年通りのコースが予定されていますので、ご安心ください。

今後の予定としましては、来週水曜日の9月16日に卒後コースが開催されますので、3つのパート修了している方で未だ参加されていらっしゃらないディスカッション

リーダー(DL)候補者は是非参加なさっては如何でしょうか。当地区では、この卒後コース及び10月5日に予定されているDL養成コースまで修了することがDL資格取得の要件となっております。RLIに積極的に参加し、地区内他クラブの様々な役職の会員達と自由に意見交換しながら、知識や経験を分かち合うことでロータリーを広く浅く知ろうではありませんか。

皆様の積極的なご登録、ご参加をお待ちしております。

◆幹事報告

河原 大輔幹事

- ・来週の例会は、ガバナー補佐訪問でクラブ協議会の予定でしたが、ガバナー補佐の卓話となりました。
- ・本日、例会終了後に臨時理事会を行います。

◆出席報告 (会員数51名)

出席者数	欠席者数	ビジター	8/28 修正出席率
27名	24名	1名	64.58 %

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月		三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	9/29・10/13	センテイタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火		アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	10/7	京成ホテルミラマレ
千葉北RC	水		ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	10/1・10/15	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木		京成ホテルミラマレ

◆ニコニコボックス報告

《廻 辰一郎会長・河原 大輔幹事》

昨年の9月9日には、千葉県に台風15号が上陸し、多大な被害を受けました。あれから早や1年が経ちました。交通機関の遮断をはじめ、停電や断水と日常生活を失う事態となりました。今年も台風は襲ってきます。

皆様におかれましては、コロナ対策に加えて、台風を含めた災害対策をお願い致します。

石田様、ようこそお越しくださいました。後ほど卓話をよろしくお願い申し上げます。

《植松 省自会員》

明るいイメージの素晴らしい活動計画書が出来ましたね。関係者の皆さん、有難うございました。

《出井 清会員・三神 秀樹会員》

今日配布された、2020-21年度の活動計画、素敵です。前島会員、有難うございます。

《前島 孝夫会員》

お待たせ致しました。本日、クラブ活動計画をご納品させていただきました。皆様からご意見をいただきましたら幸いです。

本日のニコニコボックス	6,000 円	累計	96,000 円
金の箱	220 円	累計	10,967 円

本日の卓話

演 題⇒『地元千葉におけるイベント開催』
卓話者⇒ 有限会社オクト
代表取締役 石田 辰雄様



本日はお呼びいただきましてありがとうございます。有限会社オクト石田と申します。どうぞよろしくお願いたします。本日は岡田さんからご紹介いただきましたとおり、千葉市でのイベントの開催につきましていろいろとやらせていただいております。そのあたりをいくつか紹介させていただけたらと思います。「地元千葉におけるイベント開催」についてです。

大きく分けまして5つございます。一つは今お話が出ましたレッドブル・エアレース千葉大会、二番目に千葉市民花火大会、いわゆる幕張ビーチ花火フェスタ、三番目に千葉シティライアスロン大会、四番目にSTARLIGHT CINE MAZ、五番目にX'mas SKY ILLUMINATION。

何のことやらと思われると思いますので、一つ一つご説明させていただきたいと思っております。

まずイベント開催の目的といたしまして、ただ単にイベントをやるかと進めてきたわけではなく、まず一番目に開催意義の整理として、何のためにイベントをやるのかというところをそれぞれイベントの中で作らせていただいて、イベントの開催に向けて進めていったということがあります。二番目に、地元の業者さん、いわゆるイベント関係ですと音楽フェスなどは東京から多くの業者さんが来まして、全てやっていってそのまま立ち去ってしまうという流れが今まで多かったのですが、それでは千葉に対するメリットというか経済波及効果も含めてもったいないというところがありましたので、地元の企業でそれなりのプラットホームを作っていこうというところを考えました。三番目に官民連携による新しいスキーム。これは、民間企業だけでイベントを進めていくのではなくて行政とタッグを組んだ形でイベントを進めていけるかどうかというところをいろいろ模索しながらやらせていただきました。

まず一番目のレッドブル・エアレース千葉大会、こちら逆にご存じない方いらっしゃいますか。みなさんご存じですよ。2015年から2019年の昨年まで5回開催をしてまいりましたが、残念ながら昨年で一応終了ということになりましたが、復活させようという動きもございます。ただ日本の場合ですとオリンピックですとか、世界的なコロナ禍の状況の中でなかなか大きな世界大会というものを開催できない場

面もございまして、来年以降にまた開催ができるように我々としては動いている状況でございます。またその時には是非お越しいただければと思います。

今日は、エアレースとは何ぞやという話をしても多分含みが違うのかなと思いますので、当初、エアレースを日本、千葉の幕張の地に招致するためにどうすれば良いかというところからお話しさせていただければと思います。海外では、例えばUAEのアブダビは毎年第一回を開催しており、岡田さんと一緒に視察に行きました。エアーレースの招致金がけっこうかかるのですが、アブダビの場合ですと、ポンと王様のポケットマネーで招致してしまえるようなかたちです。それが日本の中でできるのだろうか。当然他国の場合ですと各地方自治体、行政がお金を出して招致するという流れがあったのですが、日本の場合は、千葉市の場合は当然そんなお金は出せません。エアレース側の条件としては、いろいろなリスク、金銭的なリスクや事故等におけるリスクも含めて開催地の方にそのリスクを背負ってくれという話がありました。当時千葉市としては市長も含めてですが、そういうリスク等もとれないし、お金も出せないという条件の中でエアレース自体を開催できないかということで実行委員会が立ち上がりました。お金の面に関してはスポンサー、出資者等を集め、千葉市としてはそういうリスクを伴わないけれども一応千葉市の中で招致するという流れの動きというものを作り、本国オーストリアの方に招致レターを出し、エアレースを幕張の地に招致することができたというのが今から約7年前です。その前、約5年間くらいそういう動きがずっとありました。ようやく開催することができたのですが、当初1年目、やはり非常に風当たりが強く、それこそ事故が起きたらどうするのかとか音の問題とかいろいろな問題が起きました。それでもやはりイベントの初回には、そういうものはつきものということで、とりあえず開催をしようとして我々も色々なところを駆けずり回りなんとかやってみました。最終年度5年目においては、ほとんどクレーン等もなく、みなさんまた開催してほしいという声の中で終了できたかなと思います。その中で1回目から4回目までの裏話になりますが、滑走路について、なかなかこの情報は皆さんに行っていないのですが、1回目から4回目までは浦安の海岸線にある護岸を滑走路として使いました。そこから飛び立つと幕張まではものの2分くらいで到着するという状況でした。パイロットとしてもストレスなく非常に良い環境の中でできた滑走路でした。ところが5年目に、現市長の選挙公約の中でその護岸を一般市民に開放するという公約があり、どうしても護岸の外側にフェンスを張り巡らさなければならぬ状況になり、滑走路として使えなくなることになりました。さてそこで非常に困ってしまいました。実は日本の陸地の上というのは海外機、海外国籍の飛行機は飛ばないのです。そのため、どうしても海岸線に滑走路のあるところを探さなければいけない状況になりました。3年目の時に零戦を飛ばしたのですが、実はこの零戦もアメリカ国籍だったので、河川の上をずっと飛んできて海に出て飛んだという経緯があります。

話を戻しますが、5年目の滑走路をどうしようかということになり、浦安から市川、船橋の海岸線をグーグルマップで調べてみましたがやはり無いのです。最大650メートル、8

00メートルの距離がないと飛行機が飛ばせないのです。そこで出てきたのが木更津の駐屯地です。実は私、出身が木更津高校でして今の現木更津市長は同級生なので、我々の中で下打ち合わせをして市長に電話をし、こういった状況で木更津駐屯地を借りたいという話を持ちかけました。いろいろと内部状況を聞きますと、木更津駐屯地はまだ米軍の持ち物であるため、日米地位協定というものをクリアしていかないとなかなか難しいということで今度ゲタは防衛省に移りました。防衛省に対して当然市長のほうからも話をしてもらったのですが、木更津の地元の名士である浜田靖一先生が高校の先輩でもありましたので浜田先生にご挨拶に行きました。その前に防衛省の事務次官に話を通していただいたのですが、その足で防衛省に行きまして事務次官、の下広報部含め約30名くらい自衛隊員のかたがいらっしゃいました。お話しは聞いておりますということで、あとは実務ベースで進めていかないと間に合わなくなる、それが9月開催だったのですが1月くらいの話で、日米地位協定の話を進める中で米軍の許可を取るために半年くらい時間がかかる、そこから大急ぎで進めていきまして、なんとか木更津の駐屯地をお借りすることができました。当日はセキュリティ関係も非常に厳しく、そういったところもきちりレギュレーションを作りながらやっていました。これだけの世界規模の大会を開催するために、実は裏でいろいろな成功例、関係者の方たちの動きがあったということをお伝えしておけたらと思います。スライドの上の方が幕張の会場です。初年度は約12万人が来ております。下の写真の方ですが、これが浦安のいわゆる滑走路の部分になります。1ヶ月くらい前から車止めや舗装関係、全部きれいにしまして滑走路となるような状況を作り上げました。これがエアレースの内容でございます。



続きまして幕張花火ビーチフェスタ、こちらも皆さんご存じだと思います。実はこちらの方のイベントで何が、ということになるのですが、当然千葉市主催の花火大会でして、この花火大会を開催するにあたって、千葉市は4つのプロポーザルを出しています。一つは警備、二つ目が設営、三つ目が花火の打ち上げ、四つ目がプロモーション。この4つのプロポーザルを出しています。そのうちの警備と設営を実は私のほうで昨年からとらさせていただいています。流れ的にいいますと、スライド右側に会場周辺図全体が出ていますが、幕張のビーチのエリアだけでなく、例えば無料観覧席、これは昨年の図面になりますけれども幕張メッセの駐車場が無料観覧席になっています。それと同時に精神科医療センター隣がテラス席といいまして、もう一つ観覧席を作っています。当然一般の方というのはいろんな所から花火を見られてしまう状況なので、警察から、全てにお

いてこの海浜幕張エリアにおいての人の誘導、事故のない対応を求められまして、警備誘導で約630人、設営部隊で約400人の人間を、当然準備は一週間前から始まっていますけれども当日配置をしまして、警備計画も西警察の方に提出しながら、西警察さんとはかなりすったもんだやりながら進めてまいりました。この花火をやっていきながら非常にもったいないという考え方が私の中で生まれてきました。というのは実は2万3000発の花火を打ち上げていますが、数としてこの玉数は日本最大級なのです。例えば大曲の花火大会などが日本的には有名なところですが幕張の花火大会はそれほどメジャーではありません。でもそれだけの花火の数を打ち上げています。では何なのかと考えると、この幕張ビーチ花火フェスタに対する海浜幕張エリアの周辺の企業さん、お店などが一丸となってこの花火に向いていないという感を受けました。というのは、当然夜の花火ですから宿泊を伴ってもいいわけですが、でもほとんどの人がその日のうちに電車で帰ってしまうという状況が生まれてしまっています。もっともっと周りがこの花火に向けて動き出させていけるともっと経済波及効果が生まれて、なおかつプロモーションも進んでいながら全国区の花火大会になっていけるのではないかなと思いました。そんな思いを進めながら、今年は実はオリンピックの影響で5月2日に花火の予定だったのですが、コロナの影響で中止になりました。来年は、オリンピックを開催するという前提の中でどうなるのかまだはっきり決まっていない状況です。当然我々もいたしましても去年、今年といろいろ計画を立てていた中で来年のプロポーザルにもしっかりと対応しながら取っていきたくて考えております。



続きまして千葉シティトライアスロン大会です。こちらは幕張ではなく、隣の稲毛海浜公園、今リニューアルが結構進んでいますがこちらで開催する予定でおります。おります、といいますか実は第1回を昨年やる予定でございました。ところが台風19号のせいで中止せざるを得なくなりました。そこで今年9月27日にやる予定だったのですがコロナ渦の影響で中止になり、幻の第1回、第2回となってしまいました。第3回目、まだ一回も開催していないのですが来年第3回目として開催しようと動いております。千葉市で実施する意義というものに関しまして、実はトライアスリート、主にパラの選手なんですけど、千葉から輩出している選手がおります。そういったことも含めて、実はこの大会というのは初心者及び身障者向けの大会というかたちを目指しています。一般の方の参加は当然なのですが、スポットとしては初心者、それから身障者のかたの大会という形にしていきたい。その先に考えているのが、スポーツの世界大会を千葉市で開催することです。以前、国際千葉駅伝というのがありましたがそれもとうとう無くなってしまいました。今、千葉市のス

スポーツ振興課と話を進めていく中で、是非このトライアスロンの世界大会を招致してくれということで今動いています。そのためには是非来年、是が非でも開催しないといけない状況です。当然その世界大会もランキングがあり、ワールドカップクラス、選手権クラスというように分かれています。今横浜で、ゴールデンウィークの翌週に世界選手権が毎年開催されています。それとは違った色の世界大会を開催しようということで今動いております。イベントイメージとして、さきほどの初心者の方もそうなんですけど、ジュニア、子どもたちがこれだけ参加している大会もあります。多分、トライアスロンという非常にハードなスポーツというイメージを持たれていると思うのですが、距離的な問題も、初心者のかたですとそれこそスイムが100メートル、バイクが1キロ、ランが500メートル、それくらいの規模の大会からあります。誰でも簡単にに入れて楽しめるという大会にしていきたいと思っています。もう一つは初心者向け。自転車はママチャリでもOKです。スライド右上にエプロンを付けたおじさんもありますけれど、こういう感じのかたも参加されています。一般の部、いわゆるエイジクラスといまして、日本全国にトライアスリートというかたがいます。仕事をしながら日本全国で開催されているトライアスロンにエントリーし、そこに行って実績を積んでいくというかたたちです。このかたたちがほとんどメインにはなるんですけど、こういうかたたちの動きになります。パラトライアスロン、いわゆる肢体不自由のかた、また知的障害者のかたもいらっしゃいます。今年9月27日、トライアスロン大会は中止にしたのですが、稲毛海浜プールで千葉県肢体不自由者のかた及び知的障害者のかたたちを集めてトライアスロンの体験を開催します。コロナ禍ですので30名限定で進めていますけれどももう定員が埋まりまして、ああこんなに興味のある方がいらっしゃったんだなと実感したところです。また、この大会を開催するにあたってはスタッフ、ボランティアのかたがかなりの人数が必要になってきます。ボランティアの場合ですと、エアレースがそうだったのですが100人、200人のボランティアのかたが参加している部分で熱い思いと汗を流していただき、終わったときには一つの感動で結ばれるという状況が毎回生まれています。

続きましてSTARLIGHT CINEMAZ、話が全部飛んでしまうのですが、いわゆるドライブ・イン・シアターです。今年6月13日から8月30日まで稲毛海浜公園の第二駐車場でドライブ・イン・シアターというものを開催させていただきました。3月の段階でコロナが発生して諸々のイベントを中止せざるを得ないという状況の中で何かできないかというところ考えた結果がこのドライブ・イン・シアターでした。当然車で参加されることとなりますのでソーシャルディスタンスは当然とることができ、イベント性も含まれた中で映画を見るという状況を作り出そうということで立ち上げました。このドライブ・イン・シアターをご存じのかたいらっしゃいますか。ありがとうございます。そこまで知っていただけているなら。実はこれが写真なのですが映画自体は旧作しか流せません。映画業界と交渉していった中でいろいろな問題がありまして旧作しか出せない。今、サブスクでHuluですとかNetflixですとかテレビで十分映画を見られる環境の中、このドライブ・イン・シアターに果たしてお客さんが来

るかどうかというところが非常にポイントだなと思いました。我々としてはいろんな仕掛けをしようと、こういったかたちで下からライトアップしたり、右下を見ていただくとハザードをたいていただいているのですが、実はMCがFMラジオの中で呼びかけ、一斉にハザードをたいてもらうという演出をしたりとかそういったことをしています。それからテーマを持って、例えば7月の第2週はディズニークラスとか、それからホラー祭りとか称しましてバイオハザードを1〜6までずっと出していました、そのときスタッフが全てゾンビメイクをしました。ゾンビメイクをしてお客さんを受け入れる、というような仕掛けをしながら開催させていただきました。最終週、金土日ですが、銚子電鉄さんが映画を作りまして「電車を止めるな!」。どこかで聞いたようなタイトルではあるのですが、これの封切りをこの稲毛海浜公園でさせていただきました。マイク、FMラジオを通して社長、監督等が舞台挨拶のようなものをさせていただきました。こういった演出が映画を見るだけでなく、プラスアルファで付加価値を付けることによってお客さんも楽しむことができたと思います。当然SMSの反響は非常に上々たるものでした。台風が来るシーズンになりますとイントレという足場を崩さなくてはならずそのための費用がかかってしまうためこのイベントは8月いっぱいまで終わりにしましたが、今、他から引き合いがあり、どこかのスポットで開催できないかと打診を受けております。



最後ですが、X'mas SKY ILLUMINATIONといひまして、来年の冬に稲毛海浜公園で花火、イルミ及び音楽のイベントを開催しようと動いています。イメージとしてはこんな感じです。クリスマスツリー、それから音楽・花火・特殊効果“炎”とのコラボレーションを楽しんでもらおうと千葉市を巻き込んでやっています。それと音・光・花火・炎のマリアージュ。このイベントを稲毛で開催しようと動いています。これには結構なお金がかかります。



こういった状況ですので旅行会社とパッケージを組んで、宿泊、このイルミネーション及び他のツアーとのパッケージの中で売り出していこうという新しいスキーム作りをしています。皆様におかれましてはご参加も含め、またスポンサーという考え方もございますので、今後ともよろしく願い申し上げます。